

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol.39
2019

特集

緑々しい 木の国の、 世界遺産。

世界遺産登録15周年

知事対談 高嶋仁×仁坂吉伸

Photo Geo [那智の滝]

Wakayama Active Woman

おいしいわかやま [梅編]

プレミア和歌山 [熊野本宮・釜餅]

根を大きく張りめぐらせた天狗杉。那智原始林には生命の
パワーが満ちている。

世界遺産登録15周年

緑々しい 木の国の、 世界遺産。

芽吹きの中、枝葉を伸ばし命燃ゆる夏。
落葉の秋、息を潜め春を待つ冬。
永遠の時間の中で、樹々は再生を繰り返す。
巨木や滝、川の流れにも、
そして空にも海にも大地にも。
和歌山の自然には寛容な神が宿る。
神も仏も黄泉の国も極楽浄土も、
緑々しい木の国の森の中に…。

穏やかな佇まいの二の滝。木の葉流しの滝とも如意輪観音の滝ともいわれる。(那智原始林)

紀伊半島南部に広がり、太古より「神々の宿る地」といわれた「熊野」は、今も神秘に満ちた蘇りの地である。滝や巨石、大木といったそれぞれ異なる自然崇拜を起源とする熊野三山を指し、上皇や法皇をはじめ貴族や武士、庶民までもが詣でるようになり、その様子は「蟻の熊野詣」と称されるほどであった。現在「熊野古道」と呼ばれているその参詣道は、京の都より三千六百峰といわれる険しい山々を越えなければならぬ修行の行程でもあった。神々しい大樹に覆われた熊野は、神と仏が習合し、真言密教や修験道、さらには浄土信仰さえもが混在する、世にも稀な聖域である。

熊野三山の一つである熊野那智大社の社有地・那智原始林は、古より枯れることなく流れ続ける「那智の滝」の源流であり、許可なく立ち入ることできない、俗界と隔たれた特別な聖域である。拜殿で正式参拝を済ませしばらく歩くと、「二の杉」が出迎える。樹齢千年ともいわれるその大杉は、まるで巨大な森の番人のように、根や枝を大きく広げ、今にも歩き出しそうに見える。一般的に「那智の滝」と呼ばれるのが一の滝で、上流にある二の滝、三の滝を総称して那智大滝と呼びます。大雨などでその姿が変わってしまうこ

ともありますが、それも自然だということとです。私たちガイドは、あるべき姿を自分たちで変えてしまわないように、那智勝浦町の企業やボランティアさんたちと協力し、保全活動も行なっています」と、静かに森を見つめながら語るのは熊野那智

ガイドの会会長の山東健さん。優しさで力強さ。生と死、動と静。そして過去から未来へと流れる時間の中で、不変なものはない。ただそんな中でも神々の宿る熊野のあるべき姿は変わらない。

森厳な聖域の中、 神々の優しさと 力強さに触れる



①古式ゆかしい雰囲気熊野本宮大社。②朱塗りの拜殿が目にも鮮やかな熊野速玉大社。③那智山中腹に建つ熊野那智大社。④西国三十三所第一番札所としても有名な那智山青岸渡寺。三大社と那智山青岸渡寺の三社一寺を合わせて熊野三山と呼ぶ。

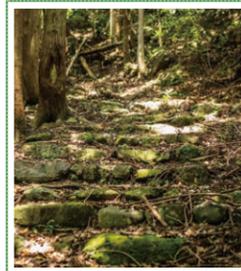


熊野古道にひっそりと佇む高さわずか50cmの牛馬童子像 (左側)。花山法皇の旅姿を模しているといわれている。(田辺市中辺路町近露の山中)

変わらない 熊野

那智原始林の「中洲」と呼ばれる場所。清らかな水の流れと生命力溢れる緑が神々しい。

創建1600年を迎える古社



■追加登録された世界遺産
2004年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」。構成資産の再調査などを行い、2016年には22地点が追加登録された。追加区間の総延長は40.1km。登録された総延長は347.7kmにも及ぶ。

追加登録された大辺路・新田平見道

「弁慶、ゆかりの地としても知られる鬮雞神社。その起源は仮庵山への自然崇拜とされ、419年を創建とし今年で1600年を迎える。中世になり熊野三山への巡礼が盛んになると熊野古道の要所として栄え、後に熊野三所権現が勧請されると熊野三山の別宮的な神社として多くの参拝者が訪れるようになった。当初は「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産として登録されなかったものの、その重要性が評価され2016年に追加登録された。和歌山県の世界遺産は今も進化を続けている。

■鎮守の森は、タイムカプセル

世界的博物学者の南方熊楠は鬮雞神社との縁も深く、仮庵山を「クラガリ山」と呼び粘菌の研究場所にしていたという。「鎮守の森は神聖なだけでなく、豊かな生態系が保たれ、また信仰心や歴史のタイムカプセルでもあり、開発などから守る必要があります」と語るのは長澤好晃宮司。照葉樹林の中にイヌマキやクスノキなどが散在し、古代祭祀場跡も発見され、古の信仰の姿が残されているという。

鬮雞神社
住所／田辺市東陽1-1 電話／0739-22-0155

公共交通機関の利便性も進化

■熊野～高野間で直通バス運行

「熊野三山を巡った後、折角だから高野山にも寄ってみたい」。しかしこの二つの聖地を巡るためには接続が不十分で、移動だけで1日近くかかっていた。そこで行政と民間の交通機関がタッグを組み、2016年から二つの聖地を巡る「世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス」の運行が始まった。これは現代版参詣道ともいえ、「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力はさらに進化し続けている。

和歌山県観光振興課 電話／073-441-2775



■期間／2019年4月1日(月)～2019年11月30日(土)
〈平日1往復(午前便)、土日祝2往復(午前・午後便)〉
■運行区間／高野山駅前～本宮大社前
【バスの運行に関しては】南海りんかんバス 電話／0736-56-2250
龍神自動車 電話／0739-22-2100



行き先別に番号や色を分け、わかりやすく表示(本宮大社前バス停)

■路線バスを利用しやすく

熊野三山周辺を運行するバス会社は4社あり、それぞれバス停の掲示物の仕様が異なり、外国人旅行者にとって分かりにくいものであった。そこで県と4社のバス会社等が連携して、バス停の掲示物の仕様の統一や多言語情報の充実、系統番号の導入等を実施。さらに、これらの情報をまとめた外国語版パンフレットを作成。世界に向けての魅力発信と、サービスの充実は世界遺産の進化に不可欠な条件である。和歌山県観光交流課 電話／073-441-2785

進化する熊野

自然と寄り添い、共に生きる。
人と人の繋がりが深い熊野は、互いに影響しあって進化を続ける。

■熊野で見つけた新しい生き方

大学のゼミ活動で何度も熊野を訪れ、卒業後すぐ友人4人で「くまのこ食堂」を開店した森岡雅勝さん。「年配の方たちが、若い僕たちと対等に接してくれるのが新鮮でした。熊野は世界遺産であり、どこにもない魅力があります。また田舎ゆえに家賃が安く経費が抑えられるなど、都会にはないビジネスチャンスが溢れています」。これからの熊野の進化を支えるひとつの形であり、今後も彼らから目が離せない。

くまのこ食堂
住所／田辺市本宮町本宮452-1
電話／0735-30-0878



①自分たちでリノベーションしたくまのこ食堂の店内。②現在26歳の森岡さん。今では地元の若い人たちとフットサルチームを作り楽しんでいる。③ヤタガラスをモチーフにしたロゴマークも素材が可愛い。④地元の狸さんが獲ったシカをローストした丼。



熊野に住んで感じたのは、人々の思いやりの心やおすそ分け文化のありがたさ。本当に日々感謝しています。そして毎日写真でも撮りたくなるような時間の連続です。

熊野の進化を支えるのは、人々の思いやりのココロ。

■驚きと感動の思いやり、それが熊野の文化。

田辺市中辺路町野中でGuest house MUIを営むのは、生まれも育ちも東京の宮原正太さん。中辺路に何度か来る間に魅力を感じ、「地域おこし協力隊」に参加、その後ゲストハウスを始めた。宿泊施設運営の経験がない宮原さんにノウハウを教えてくださいました。熊野で気付かされたのは、自分たちがどれほど時間に追われていたかということです。移住を決意したのは、一言で言えば人と古道に引き寄せられたんでしょうね。熊野での生活は感動

的な風景ばかりです」。移住の準備をしながら、夫婦二人でサンティアゴ巡礼の道を歩いたが、その経験は熊野古道を歩く海外の方と接する際に、非常に参考になったという。「宿泊客の9割が海外の方で、話は世界情勢など多岐にわたり、かなり国際的。こんな田舎でこんなに外国人に出会えるとは思いませんでした」。熊野に魅せられた移住者が新たな魅力で人々を笑顔にしている。

Guest house MUI(ゲストハウスMUI)
住所／田辺市中辺路町野中284-5
電話／080-6700-1617



①様々な国の言語で宿泊の感想が書かれている宿泊者帳。②食事部屋の壁一面に貼られている巨大な世界地図。宿泊者は出身国にピンなどで印を残す。③熊野古道とサンティアゴ巡礼の道の両方を歩いた方に贈呈される「DUAL PILGRIM」のバッジ。④オーナーの宮原正太さん(左)と奥さんのくみさん。ヤギのハルとレインは外国からの宿泊者に癒されると人気。





奥之院参道に立ち並ぶ約20万基を越す墓碑や供養塔。これもまた弘法大師の足元に眠れば極楽住生できるという信仰によるもの。

高野

変わらぬ

奥之院参道に立ち並ぶ約20万基を越す墓碑や供養塔。これもまた弘法大師の足元に眠れば極楽住生できるという信仰によるもの。

読経の声に触れることができる。樹齢数百年の大杉の中、奥之院の参道を奥まで歩き進むと、空気の密度が増し空海が存在が徐々に感じられるようになる。有りがたや、高野の山の岩陰に大師はいまだおられます。835年に入定した空海は、今も世の中の平和と人々の幸福を願い続けているという。そんな大師信仰の源泉の一つともいえるのが、1200年以上続い

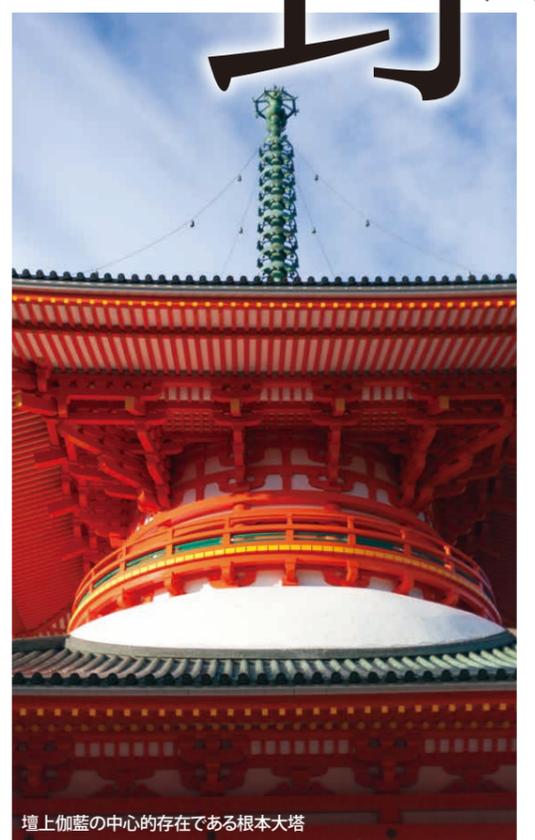
てきた生身供である。どんな天候であっても、毎日二度、空海に運ばれる食事であり、そしてそれを統括しているのが、維那と呼ばれる奥之院の仕侍僧である。

「午前3時には起床し、御供所の神様や仏様にお供えを行い、4時から食当とよばれる当番が精進料理を作ります。その内容は様々ですが、口外してはなりません」と語るのは唯那の仁賀大善さん。「御供所で作られた食事は、6時と10時半に燈籠堂に届けます。温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま。また寒い日は火鉢と共に、暑い日はうちわもお供えいたします。食材は全国からいただいたもので、食当は日誌をつけ、メニューが重ならないように気をつけ、野菜などの命を活かし、農家の方々の苦勞も無駄にしないように注意しながら作ります」。配膳している間は料理の湯気が立ち、そうした瞬間にお大師さまの存在を確かに感じるのだという。

高野山の町中を歩くと僧侶と出会い、

内八葉外八葉と称される山々に囲まれた山上盆地、高野山。人々が容易に近づけないその地は、弘法大師・空海が816年に開いた真言密教の聖地である。空海はまず七里四方に結界を張り、壇上伽藍の建設に取り掛かる。そこでは堂宇の配置などで曼荼羅の世界を立体的に表現しようとした。それはまさしく密教の奥義そのものであり、空海の脳内世界の具現化であったにちがいない。

樹々に抱かれて感じる
空海の不變なる想い



壇上伽藍の中心的存在である根本大塔



①壇上伽藍の西端にある御社。丹生都比売大神(にうつひめのおおかみ)と高野御子大神(たかのみこのおおかみ)を祀る。②高野山の総門である大門。現在の建物は1705年に再建されたもので、猛々しい金剛力士像が安置されている。③高野山真言宗の総本山金剛峯寺。高野山全体の宗務が行われる。



④空海に食事を届ける生身供。維那が先頭を歩き、食事の入った唐櫃(からびつ)を運ぶ。

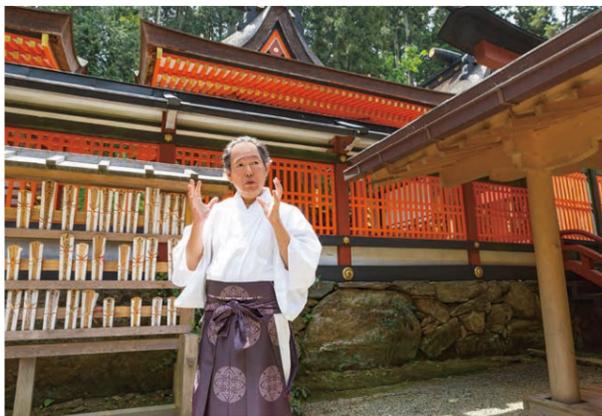
ご神犬が空海を高野山へと導く

■丹生都比売神社と高野山

天野に1700年以上前より鎮まる丹生都比売神社。空海は高野山を開創するにあたり、当神社より神領地の一部を授かったと伝えられている。高野山開創縁起には、「空海は山中で白黒2頭の犬を連れてた狩人に出会い、高野山に導かれた」とあり、その狩人が丹生都比売神社の主祭神・丹生都比売大神の御子である高野御子大神である。「空海さんはまず最初に神々に感謝し、壇上伽藍に御社を建てました。それが神仏融合の始まりといえます」と語るのは丹生晃市宮司。そんな導き犬物語を今に伝えるために、新たにご神犬として奉納されたのが紀州犬の「すずひめ号」。神犬が導いた丹生都比売神社と高野山の結びつきは1200年を経た今も進化し続けている。

丹生都比売神社(にうつひめじんじや)
住所/伊都郡かつらぎ町上天野230
電話/0736-26-0102

すずひめです!
16日は会いに来てね



上/社殿前に立つ丹生宮司。その後ろには高野山の僧侶が納めたお札が見える。下左/堂々たる姿の楼門は、国の重要文化財。下右/毎月16日の月次祭に公開される「すずひめ号」。まずは神妙に神前に参拝。

■紀州犬って?

すっきりと通った鼻筋に、ピンと立った耳につぶらな瞳。好奇心旺盛で優れた運動能力を持ち、飼い主に従順な性格で人気の犬種。紀伊半島を中心に飼育されてきた日本犬で国の天然記念物。



月次祭の日限定の御朱印は「すずひめ号」の押印付き。他にも絵馬や犬のおみくじも参拝客をお出迎え。



麓の町と高野山を繋ぐ



■ケーブルカーも54年ぶりに進化!

1930年に開通して以来、南海高野線の極楽橋駅と高野山駅を結び、参拝者や住民を運んできたが、今年3月に54年ぶりとなる4代目の新型ケーブルカーがデビュー。客車部分はスイスのメーカーが手掛け、車体は根本大塔をイメージさせる朱色に塗装。高野山への期待感を盛り上げてくれる。



シックな木目調の内装。

南海電気鉄道株式会社
電話/06-6643-1005



2015年にリニューアルした高野山駅。特徴的だった屋根の宝珠は今も健在。

山内移動にEVこやくん



高野山を身近に楽しみながら周遊でき、環境問題にも配慮した電気自動車のレンタルを開始。単なる観光地ではない高野山ならではのおもてなしと注目を集めている。

一般社団法人高野山観光協会
電話/0736-56-2468

進化する高野

守るべきは守り、変えるべきは変える。
ただひと時も停滞することなく、
そこにあり続ける、進化する高野。

何度でも再生する。それが高野山

■再建は信仰の証し

高野山の歴史は焼失と再建の歴史でもある。平安時代の994年には落雷でほとんどの建物が焼失し、その再建のために周囲の森林は著しく伐採されたという。鎌倉時代の最盛期には2000を超える堂舎が建ち並んでいたが、延焼による被害も大きかったという。しかしその都度堂舎が再建されたのは、空海への信仰心に他ならない。1813年には寺院の建築用材として特に重要なスギやヒノキ、コウヤマキなどを高野六木と設定し、寺院や伽藍の修繕用材以外の伐採は禁止された。

■中門再建への果てしない道

壇上加藍の入口に建つ中門は1843年に焼失して以来172年もの間、礎石だけが残されていた。今回8代目となる中門の再建を担ったのが尾上恵治さん。「最も大変だったのは、礎石の上に柱を直立させる光付けという作業。それだけに4ヶ月かかり、竣工日を考えて生きた心地がしませんでした。準備も含めると6年。高野山の木々は、みだりに伐採することはできない上に、柱に使えるような大きな木は深い山中にしかなく、運び出すのが大変でした。樹齢の倍以上持たせるのが職人の実力。そのための手間を惜しみませんでした」。それはまさしく宮大工の数百年後への「技」の手紙。職人たちの時間を越えた技比べでもある。



2015年に再建された中門。
今回、中門の屋根裏に米や塩の値段、東京大阪間の飛行機の運賃などのメモを残しました。数百年後の発見者がどんな顔をするのか、想像すると楽しみです。



株式会社尾上組の代表取締役である尾上さんは建築士であり、和歌山県世界遺産マスターでもある。高野山の案内人も務める。



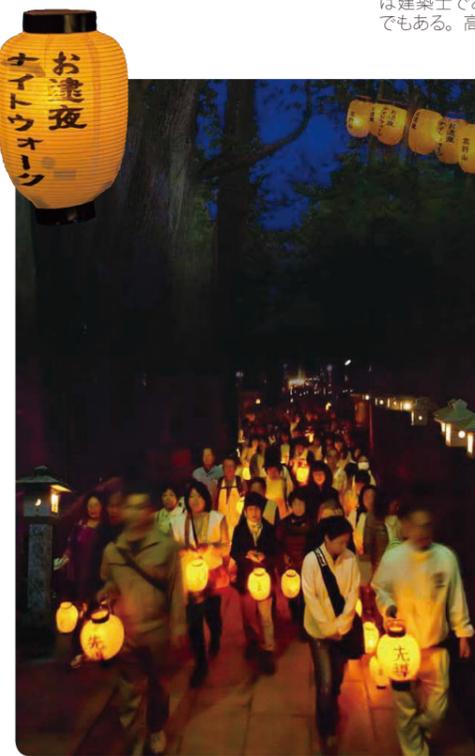
上/高野山を取り巻くのは資材用に植栽された木々。下/中門の柱のひとつ。礎石が平らでなかったため、光付けにかなりの時間がかかったという。

新たな魅力が生まれる

■お速夜ナイトウォーク

毎月21日は弘法大師・空海の縁日。その前日(毎月)の夜に行われるのが「心の癒し・お速夜ナイトウォーク」。奥之院の表参道入口、一の橋前に集合し、提灯を灯し奥之院参道を歩き、燈籠堂では特別に御法楽や法話を体験することができる。2011年から始め、毎月来るリピーターもいる。高野山の新しい魅力のひとつである。

お速夜ナイトウォーク(一般社団法人高野山観光協会)
住所/伊都郡高野町高野山359-3
電話/0736-56-2468



御廟橋から最も神秘的な燈籠堂を臨む



■金剛峯寺が雑誌を発行? 「KUKAI」 ~空海密教の宇宙~

総本山金剛峯寺が発行する高野山を紹介するビジュアル雑誌。通常なら撮影できない生身供の様子や西塔内部の写真など見所たっぷり。

発行元/総本山金剛峯寺
電話/0736-56-2014
次号発行は2019年9月下旬予定

“厳しい練習を通じ 人間を育てる”

野球王国和歌山の二時代を築いた名將の言葉には、人を活かす力が満ちていた。

仁坂知事(以下仁坂) ●高嶋さんは甲子園での通算勝利68勝と歴代最多の記録を残された名將として有名ですが、2018年に監督を勇退されました。ご出身は長崎県五島列島だそうで、学生時代から野球をしてきたとのことですが、当時のお話や思い出などを教えていただけますか。

高嶋仁(以下高嶋) ●野球を始めたのは中学生になってからで、3年生の時に県大会で優勝し、次は、高校球児として甲子園へ”と思い、長崎の海星高校へ進学し野球を続けました。練習は厳しく百何十人が入部して、最終的に残ったのはたったの11人でした。

仁坂 ●その海星高校時代に甲子園に出場し、そこで味わった感動がその後の監督という未来に繋がっていったのだと聞いています。

高嶋 ●そうです。中学校ではピッチャーでしたが高校では肩を壊し、外野手として頑張り2年生の時に初めて甲子園に出

場しました。そしてあの大きな”甲子園球場”で、何万人という観衆に見守られ入場行進を経験した時は、感動で足がガタガタ震えました。このとき”指導者として甲子園に戻って来よう”と心に決めました。そして教員の資格を取るために大学に進学しようとしたのですが、父は進学にあまり賛成ではありませんでした。

しかしそんな父を説得するために、母も働きに出るなどの協力をしてくれ、私自身も一年間アルバイトをしてお金を貯め、日本体育大学に進みました。

優勝に必要なのは
“実力と運と勢い”

仁坂 ●その後、奈良県の智辯学園で監督となり、1977年の第49回センバツではベスト4の成績を残され、1980年には智辯和歌山の監督に就任されましたね。

知事対談 高嶋 仁 × 仁坂吉伸

智辯学園和歌山高等学校名誉監督 和歌山県知事
環太平洋大学体育学部特任教授

校長室に掲げられている和歌山県大会優勝旗の前で行われた対談。中央で金色に輝くのは第100回全国高等学校野球選手権記念大会和歌山大会の優勝旗。



高嶋 ●その当時のチームは、キャッチボールすらまともにできませんでした(笑)。さらに和歌山県には箕島高校をはじめ、多くの強豪校がひしめいている時代でした。

仁坂 ●そうですね。その頃は箕島高校が公立高校で初の春夏連覇(1979年)を達成するなどの全盛期で、和歌山県は野球王国として全国にその名を轟かせていました。

高嶋 ●しかし彼らに勝たないと甲子園に出場できない訳ですから、これは20年かかるだろうなと思いましたが。実際にそれぐらいの差がありました。監督に就任して5年目の1985年のセンバツに何とか初出場を果たしました。

仁坂 ●そして1994年に念願のセンバツ初優勝に至った訳ですが、思い出深い試合などがありましたら教えてください。

高嶋 ●やはりその初優勝した大会中の宇和島東高校との準々決勝ですね。8回まで4点差で負けていたのを逆転するも、9回裏で振り出しに戻され、さらに延長戦で競り勝った試合です。それでチーム自体に勢いがつき、準決勝でPL学園を、決勝で常総学院を破り優勝しました。高校生って勢いに乗るともう止められないですね。そこで”そうか。こういうゲームをする”と優勝できるんや”という”優勝への道筋”を覚えてもらったような感じがしました。

仁坂 ●なるほど。では勝ち続けるために具体的には何が必要なのでしょう?

高嶋 ●優勝するには、”実力・運・勢い”という3つの要素が必要だと思います。一つ目は当たり前ですが実力。次は運ですね。やっぱり一回戦の抽選で対戦相手に優勝候補を引いたりすると勝てないこともあります。口ではキャプテンに”一番強い学校を引いてこい”とは言いませんが本心は別です(笑)。そして最後はやはり勢いですね。逆転やサヨナラゲームを体験すると、そのまま突っ走ってしまうことが多いです。



智辯和歌山のグラウンド横に建つ”優勝記念碑”。1997年、第79回全国高等学校野球選手権大会で優勝した瞬間。メンバーがマウンドに集まる様子が彫られている。中央に描かれているキャッチャーは、当時主将を務めた中谷 仁(なかににじん)現監督だという。



仁坂●やはり指導者の役割は大きく、そういう「教える技術」も重要なんです。そこで選手に対する優れた教育や指導、育成に尽力された高嶋さんには、2006年に和歌山県から「スポーツ栄誉賞」を贈らせていただきました。

野球王国和歌山の歴史とスポーツの素晴らしさ

仁坂●和歌山県には高野連の加盟校が39校ありますが、そのうち21校が甲子園に出場しています。そういうこともあり和歌山県では高校野球への関心が高いですね。その上県予選も1回戦から全試合を生中継していて、みんながテレビで応援しているんですよ。そんな「野球王国和歌山」ですがその歴史を振り返ると、和

歌山県は夏の甲子園が始まった頃から活躍しています。例えば和歌山中学校(現桐蔭)は第1回から14回連続出場しています。また1933年のセンバツでは、和歌山中学校・海草中学校(現向陽)・和歌山商業(現和商)・海南中学校(現海南)の4校がそろって出場しています。他にも全5試合完封・2試合連続ノーヒットノーランの記録を打ち立てた海草中学校の嶋清一選手は「伝説の大投手」として知られています。阪急や近鉄の監督として活躍された西本幸雄さんも和歌山中学校出身で、私の父の学友でした(笑)。また今年の春に和歌山市立和歌山高校と、高嶋さんの後を継いだ中谷監督率いる智辯和歌山の2校が甲子園に出場したのは嬉しかったですね。私は見るのも好きで予定がなければすぐに甲子園へ飛んでいく

高嶋 仁(たかしまひとし)

1946年長崎県生まれ。1972年から智辯学園、1980年から智辯和歌山監督。甲子園で春1回、夏2回優勝。甲子園通算68勝は歴代最多。2018年に勇退し、現在は智辯和歌山名誉監督。2019年、環太平洋大学体育学部特任教授に就任。



誇らしげに図書館に展示されている甲子園での優勝盾。



強いチーム作りと人間を育てるとは？

仁坂●では実力を伴った強いチームを作るためには何が大切なのでしょう？

高嶋●強いチームを作るために大切なのは「体力・精神力・技術」の3つだと思っています。まず最初に体力づくり。これは中途半端ではなく、どこも真似できないような日本一の練習をしました。時には生徒たちに反発されることもありましたが、それを克服することで自信が生まれ精神力が鍛えられます。それに付随して技術も磨かれます。ひとつだけが良ければいいのではなく、3つの要素が揃って初めて本当に強いチームになります。

仁坂●では指導の中で一番気を付けていたことは何でしょうか。

高嶋●高校球児ですから目標はもちろん甲子園なんです。目的はやはり「人間を育てる」ということです。

仁坂●指導の中で「人間を育てるとは？

高嶋●社会人になっても通用するような常識やマナー、気構えなどを練習の中で教えていました。例えば、引つ張ってホームランを打つても叱るんです。そんなホームランを打つのは楽なんです。でも逆方向へ流して打つのは難しい。しかし選手としても人としても鍛えるために「楽をするんじゃない」という意味も込めてあえて叱るんです。逆に試合でエラーをして帰ってきて、頭ごなしに叱るのではなく「お前のエラーで2点取られた？だったらラン打ったら終わりやな」と発破をかければ、「ヨシ！やるぞ」と燃えるんですね。今は厳しい指導が難

知事対談
高嶋 仁×仁坂吉伸

智辯学園和歌山高等学校名誉監督 和歌山県知事
環太平洋大学体育学部特任教授



試合を目前に練習にも熱が入る中谷監督と生徒たち。近くで見るとその熱量と迫りに圧倒される。

い時代ですが、人間が人間を動かすのはやっぱり言葉ですから、これからの指導者は言葉の勉強も重要です。また自身が偉そうにせず、謙虚さを持って選手と接すれば問題は出てこないと思います。

仁坂●高嶋さんはご自身が動くことが多く、グラウンド整備にしても高嶋さんが率先してなさっていたと聞きます。厳しく鍛えつつも人間的にもきちんと接し、生徒を大事にしていたのがよくわかります。とはいえ練習を拝見すると、ノックがまた厳しい…。

高嶋●監督と選手との対話はノックです。からね(笑)。しかし他校のような「200本ノック」とかはありません。右側15本、左側15本の合計30本だけ。しかし一生懸命飛びつければ捕れる。少しでも気を抜くと捕れない「ギリギリの所に打ちます。だから選手は真剣に練習に向かい、少しずつ守備範囲が広がっていきます」。

仁坂●監督と選手との対話はノックです。からね(笑)。しかし他校のような「200本ノック」とかはありません。右側15本、左側15本の合計30本だけ。しかし一生懸命飛びつければ捕れる。少しでも気を抜くと捕れない「ギリギリの所に打ちます。だから選手は真剣に練習に向かい、少しずつ守備範囲が広がっていきます」。

高嶋●それは見ている全員が監督になれることではないでしょうか。攻守の交代や1球1球に間がある、それがワクワクするんですね。「ここはスクイズやろ」「やっぱり打たすべき」。ヒットが出なかつたら「ほら！やっぱりスクイズだったやろ」(笑)。そういうのが楽しいですね。

仁坂●なるほど。私は楽しむだけなので偉そうなことは言えませんが、「チームスポーツ」では、仲間と協力することの楽しさと重要性を感じることができ、また「チームワーク」組織で働くことの素晴らしさも学ぶことができます。

高嶋●試合は誰のためにするのか？親のため、自分のため、学校のためといういろいろあると思いますが、僕は「補欠のために試合しろ」と言っんです。補欠がいなければ練習もできません。仲間や同僚のために頑張る。それがチームワークの重要な部分だと思っています。

仁坂●そういう意味でも若い頃に野球をはじめスポーツをすることはすごく良いことですね。もちろんスポーツマンシップや克己心も身に付けることができ、そうした人は社会に出ても実に良い仕事をされると思います。今日はスポーツの素晴らしさと重要性を再認識させていただきました。ありがとうございました。



那智の滝

「なちのたき」

硬く浸食に強い火成岩と比較的やわらかく浸食を受けやすい地層の境界に形成された滝。熊野那智大社の別宮・飛瀧神社のご神体として人々の畏敬を集め、日本一の落差133mを誇るその姿は、見るものを圧倒する。



南紀熊野ジオパークとは
プレートの沈み込みに伴って生み出された3種類の大地。それらが作る独特の景観や温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物。そしてそこから生まれた熊野信仰や筏流しなど、数多くの優れた自然や文化を体感できる場所。



竹原さん(左)の祖母が住んでいた民家を改造した工房前で。「思いついたらすぐに突っ走る」という竹原さんと、「慎重で計画的」という堀さん。思の合った二人三脚で会社を切り盛りしている。



①「材料となる木は、採取する場所や季節によって香りも変化します。それが天然素材のおもしろさですね」と竹原さん。②アロマオイルは、アロマディフューザーとして使用できるクロモジの小枝と共に木箱に収められている。この木箱も商品がピッタリ収まるようにデザインにこだわっている。③主力商品「熊野の香り」は、アロマオイルやフローラルウォーターなど。「熊野杉Shibahara」「熊野クロモジ」などの種類がある。④「熊野の香り」を使用したチョコレート「4896」も人気。⑤笑顔の絶えないスタッフとともに、サロンではボディケアなどを行っている。

作業工程

①細かくカットされた原料となる杉の葉。機械を使わず手で切るのも香りへのこだわりから。この段階で爽やかな香りが周囲に立ち込める。②カットした杉を蒸留釜に入れて蒸す。③杉の成分を含んだ蒸気が、らせん状のガラス管を通して冷却されて、滴となってフラスコに。④比重の違いによって水と油に分離され、油分がアロマオイルに、水がフローラルウォーターになる。36ℓの釜からとれるオイルはわずか20ml、販売ボトル4本分。



熊野の自然の香りを全国の人に届けたい!!

アロマオイル製造・販売 ● 竹原真奈美

天然アユが泳ぐ古座川のほとり。山を背景に建つ小さな工房に、一歩足を踏み入れると、森の中のようなやさしい香りに包まれた。「熊野の自然が育んだビュアな木の香りを、都会の人たちにも伝えたい」と。アロマオイルなどを製造、販売する株式会社エムアファブリーの竹原真奈美社長は話す。

古座町(現串本町)出身の竹原さんがアロマオイルの販売を始めたのは2013年。一度故郷を出て大阪で働いていたが、Uターン。新宮市で2006年にリラクゼーションサロンを開店し、ほぼ同時期に同じくUターンしてきた取締役の堀由起さんと知り合った。

都会から戻った2人が感動したのは「当たり前だと思っていた熊野の自然の素晴らしさ」だった。「春にはシロツメクサの香り、初夏には新緑の木々の香り…。熊野の山はまさに香りの宝庫だった」。地元の杉やヒノキの天然成分のみのアロマオイルを作って店で使いたいと思いついた、地元の熊野川町森林組合に相談したところ、「それは面白い。やってみようやないか」と協力をしてくれることとなった。

とはいっても、設備もノウハウもないゼロからのスタート。「道具選びから素材選びまで、何もかもが手探りだった」と堀さん。他の蒸留所に足を運び、森に入って素材を探した。まず初めに商品化を目指

したのは熊野の杉だったが、その杉にも多くの種類があり、それぞれ香りが違った。1年間の試行錯誤を経て、柑橘類のような爽やかな香りを含むシバラスギなどいくつかの品種にたどり着き、自分たちが求めていた100%天然の和精油「熊野の香り」が完成した。

「気持ちが悪く着き、よく眠れた」「故郷の山を思い出す」。そんな反響が何よりの励み。世界遺産「熊野」の地から、できたてのアロマをこれからも届けていきたい」と2人は顔を輝かせた。

株式会社エムアファブリー

住所 / 新宮市緑ヶ丘3-1-29
電話 / 0735-22-0662
<http://m-affably.com/>

贈り物 神々が宿る 熊野の山々からの



太古の昔から人々を容易に近づかせない黄泉がえりの地「熊野」。その神聖な山々は、地元で生まれ育った竹原さんや堀さんにとって、「心のよりどころ。だ」という。良質な「熊野材」をはじめとする森林資源は、地域の財産として大切に受け継がれている。

おいしい 【Oishii Wakayama】 わかやま

和歌山の梅は日本一の生産量を誇り、全国の3分の2を占めています。昔から「医者いらず」と言われる梅は食卓には欠かせない食べ物です。そんな和歌山ならではの、おいしい梅の産品をご紹介します！

梅札って何???



梅札

ひとくち頬張れば広がる甘酸っぱく爽やかな香り。紀州梅のクエン酸やポリフェノールはそのままだ、塩分や酸味を抑えた、ガムでもなくアメでもない新感覚のお菓子。もちろん化学調味料・合成着色料不使用。
株式会社紀州ほそ川
住所/日高郡みなべ町晩福889
電話/0739-74-2739

そのまの梅の味と香りの

うめびゅあシロップ

南高梅を自然熟成させ、栄養たっぷりの粗精糖をかけた梅の旨みがギュッと詰まったシロップ。冷水で薄めれば、簡単においしい梅ジュースが完成！夏場は炭酸で割った梅サイダーもおすすめ。
株式会社伊藤農園
住所/有田市宮原町滝川原498-2
電話/0737-88-7053



04

トマトと梅の 素敵な出会い



01

純粋な梅成分で出来た 梅エキス



紀州の赤本 梅真珠

梅の果汁を煮つめてつくる梅エキス。そのエキスに梅の食物繊維を加えて作られた梅100%の健康食品。梅エキス独自の健康成分「ムメフラール、やクエン酸」などの梅の力がたっぷりながら、気になる梅干しの塩分が含まれていないのうれしいサプリメント。
中野BC株式会社
住所/海南市藤白758-45
電話/0120-2-12340

03

05



梅あぶら

とろけるような梅干しに玉ねぎやベーコンを加え、米油で和えた食べる調味料。そのままご飯にかけても美味しいと人気。他にも薬味やパスタの隠し味にも使える梅唐辛子や豚ひき肉をあわせた梅肉みそも絶品。
株式会社石神邑
住所/田辺市上芳養391
電話/0120-37-0107

美味しい梅が
美味しく
調味料に
変身

梅酢から生まれた
綺麗なピンク色の
酸っぱいお塩

06



梅塩

梅干しを漬けた時に出る梅のエキス「梅酢」を煮詰めて作った「すっぱい、お塩」。綺麗なピンクの色は、着色料ではなく、天然の紫蘇の色。おにぎりと相性も抜群で、天ぷらや肉、魚料理に使うとほんのり梅風味。さっぱりとした味は暑い夏の料理にピッタリ。
紀州 馬吉農園
住所/日高郡みなべ町晩福505-1
電話/080-1173-2685

フルーティーで
スイーツ
みたいな梅干し



07

ウメ スウィーツ マリアージュ

梅干しの苦手な人や外国の方にも食べてもらいたい、イチゴとマンゴー、メープルシロップの3種類のテイストを開発。そのままでももちろん、冷やして食べるとまさにデザート。残ったシロップはドレッシングや炭酸で割ってジュースにも。
株式会社丸惣
住所/田辺市古尾14-8
電話/0739-22-1155

新元号「令和」

文字に和歌山の「和」が含まれていることもあり、和歌山県民にとっては特に親しみを感じる新元号「令和」。典拠は万葉集の第五巻、「春の宴で梅の花を愛でる情景。を詠んだ「于時、初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香」から。梅は和歌山県の花であり、目を閉じて口ずさむと、「みなべ・田辺」の梅林の風景や梅の甘い香りを思い出します。



熊野本宮・釜餅(よもぎ)

平成30年度プレミアム和歌山推奨品審査委員特別賞 受賞

販売者/有限会社熊野鼓動(くまのこどう)
住所/田辺市本宮町本宮1301-2
電話/0735-42-8310
http://kumano-kodou.net オンラインショップでも販売

和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を「和歌山らしさ」、
「和歌山ならではの」視点で推奨する。



プレミアム和歌山

プレミアム和歌山 検索

残間里江子審査委員長

和歌山は自然豊かで、おいしいものがたくさんあります。毎回審査が楽しみです。



釜で炊いたもち米を、釜の中でそのまま半搗ぎにし、甘さ控えめの粒あんをふんわり包んだ素朴なお餅。よもぎの香りと粒々感を残した生地が絶妙にマッチし、どこか懐かしさを感じさせる。

使用するもち米は、やたらの手作りこだわっている。本宮大社の旧社地である。

もち米の食感を残した素朴な味わい



もち米は地元農家の中村全文(なかむらぜんぶん)さん(右)が選種して栽培。背丈が高く、米がたくさん採れるのがこの品種の特徴と話す。「原料から製造まで、顔の見える商品づくりを続けたい」と横瀬さん。

今号の「和」題

旬の和歌山情報をお届けします!

WAI TOPICS 01

南紀熊野ジオパークセンターが7月27日にオープンします!



南紀熊野ジオパークは、プレート沈み込みに伴って生み出された3種類の大地に育まれた、数多くの優れた自然や文化を体感できるところです。

串本町の橋杭岩や古座川町の一枚岩、日本一の落差を誇る那智勝浦町の那智の滝など、107のジオサイトで構成されており、2014年8月に日本ジオパークに認定され、今年1月には再

認定されました。和歌山県ではユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進しており、その一つとして、7月27日(土)に拠点施設「南紀熊野ジオパークセンター」が串本町潮岬にオープンします。

センターでは、プロジェクションマッピングによる迫力ある映像や実験・体験装置などで、熊野の大地の成り立ちや自然、文化などを楽しみながら理解できるほか、常駐するジオパークガイドから地域の魅力を生で聞くことができます。(開館時間9:00~17:00(オープン日のみ12:00~17:00)、入館料無料、年末年始のみ休館)

問い合わせ/南紀熊野ジオパークセンター開設準備室 電話/0735-67-7100

WAI TOPICS 02

徳川御三家 紀州徳川家創設から400年

元和5(1619)年、徳川家康の10男頼宣(よりのぶ)は55万5千石を拝領し、和歌山城に入城しました。紀州徳川家は尾張・水戸とともに「御三家」と呼ばれ、将軍を2人輩出した家でもあります。

初代藩主頼宣は黒江塗(漆器)やみかんの栽培など産業を奨励し、紀州藩の基礎を築きました。また、親孝行の大切さや法律を守ること、正直に生き家業に専念することなど、道徳規範を説いた「父母状」を作成し領民に広め、その精神は今も紀州人に受け継がれています。

さらに16代当主の頼貞(よりのさだ)は、西洋音楽の日本への普及に尽力し、収集した貴重な音楽資料のコレクションは「南

葵音楽文庫」と呼ばれ、和歌山で大切に保管されています。

今年には紀州徳川家創設から400年の節目の年になります。それを記念し、和歌山県立博物館における「徳川家入国400年記念特別展 徳川頼宣と紀伊徳川家の名室」(開催期間:10月19日(土)~11月24日(日)・和歌山市立博物館と共催)など、今後様々なイベントが予定されています。



問い合わせ/【南葵音楽文庫について】和歌山県文化学術課 電話/073-441-2052
【特別展について】和歌山県立博物館 電話/073-436-8670



取材をバックアップします!

和歌山県では、メディア関係の皆様へ取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

- お問い合わせ
- 和歌山県広報課
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500
e-mail/nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
 - わかやま紀州館
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館B1F
TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002
e-mail/kishukan@wakayama-kanko.or.jp

- 和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)
http://wave.pref.wakayama.lg.jp/photo/
和歌山県PR動画(動画素材貸出)
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/media/
和-nagomi-バックナンバー
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/

ふるさと和歌山応援寄附
ふるさと納税で、元気なわかやまに。
1万円以上の寄附で和歌山を味わたる「梅干し」や「醤油」など、プレミアム和歌山の商品204品の中から贈呈!(県外にお住まいの方が対象)
※詳しくは、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」をご覧ください。
https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000

和歌山 人・もの・地域

和 nagomi 2019 vol.39

企画・発行/和歌山県
発行日/令和元年7月19日
企画編集/サンケイ広告(株)
制作/(有)YS'pros
印刷/中和印刷紙器(株)

「和-nagomi」は、古紙配合率70%以上の再生紙、大豆油インキを用いて制作しています。

発見!! こんなところに和歌山!?



関東の水辺の風景には、紀州人の知恵と想いが込められていた。

かつて「水の都」と称された東京を象徴する隅田川。江戸時代、渡しなど様々な船が行き交う風景に彩りを与えたのが、紀州藩主から将軍となり享保の改革を実行した8代将軍徳川吉宗。自ら率先して質素な生活を行うことで質素節約を進める一方、庶民が花見を楽しめるようにと隅田川堤に多くの桜を植えたという。



また、吉宗が紀州藩主であった頃から重用されていた井澤弥惣兵衛は、「紀州流」と呼ばれる農業土木技術を用い、飯沼新田(茨城県)や見沼新田(埼玉県他)など、関東の新田開発を行った。特に見沼代用水は著名である。

現在でも使用されている見沼代用水。和歌山県海南市出身の井澤弥惣兵衛は、紀の川流域の新田開発などに携わり、土木工事担当の役人として5代の紀州藩藩主に仕えた。

Data ▶隅田公園
住所/東京都墨田区向島1
電話/03-5608-6661(墨田区役所)
墨堤(隅田川堤)は、隅田公園としてさらなる名所100選にも選ばれている人気スポット。



和歌山県
PRキャラクター
「さいちゃん」

NITAMA & PANDAS

さいちゃんレポート

元気日記

和歌山のスーパーアイドル、
ニタマちゃんとパンダちゃんたちの
ほっこり近況報告

ep.10



貴志川線の存続に貢献した「貴志川線の未来をつくる」会で長年活躍された濱口さん(中央)。ニタマ駅長(左)とよんたま駅長(右)も濱口さんにとっても感謝しています。

「祝・令和」の記念ヘッドマークを取り付けた「うめ星電車」が6月30日まで期間限定で運行しました。除幕式では「よんたま駅長」も新元号をお祝いしました。



た
ま
駅
長
20
回
目
の
誕
生
日
お
め
で
と
う
!

4月29日、三毛猫駅長として愛された「たま名誉永久駅長」の20回目の誕生日をお祝いするイベントが貴志駅で開催され、多くのファンが集まりました。たまは2015年に貴志駅の守り神として大明神となり、たま神社に祀られ、今も多くのお客様をホームでお迎えしています。また、「貴志川線の未来をつくる」会代表を退かれた濱口晃夫(はまぐちあきお)さんに、そのご活躍に敬意を表し、感謝状を贈呈しました。

お問い合わせは、
和歌山電鐵(TEL.073-478-0110)へ。
駅長たまのツイッター @ekichoTAMA
【よんたまちゃんの貴志駅駅長代行勤務日】
ニタマ駅長の公休日(水・木曜)に
貴志駅にて勤務しております。

「彩浜(さいひん)」が生後
300日を迎えました!



「父の日」の6月16日、15頭のお父さんである「永明(えいめい)」に子パンダをイメージした雪だるまとバラをかたどったニンジンがプレゼントされました。

たくさんの氷と300の文字にかたどられた竹がプレゼントされ、興味津々の彩浜。体重も19kgを超え毎日元気に遊んでいます。



2018年8月14日に誕生したジャイアントパンダの赤ちゃん「彩浜」が、6月10日に生後300日を迎えました。乳歯が抜けて永久歯が少しずつ生えそろうてきており、「良浜(らうひん)」の母乳の他に、ニンジンやリンゴ、最近ではタケノコもお気に入りです。竹はまだ食べられませんが、良浜の真似をして竹を口に入れて遊ぶ愛らしい姿も見られます。すくすく育つ彩浜を温かく見守って下さい。

お問い合わせは、
アドベンチャーワールドインフォメーション
(ナビダイヤル.0570-06-4481)へ。
公式ツイッター @aws_official
ホームページ <https://aws-s.com/>